

2014年度 C&C 賞表彰式開催

平成26年11月26日(水) ANAインターコンチネンタルホテル東京にて2014年度C&C賞表彰式典が執り行われました。晩秋の午後、約160名もの多数の方々にご出席いただきました(写真1)。

佐々木理事長による開会の挨拶では、C&C賞は今年が30回目で、今年度のノーベル物理学賞受賞者の赤崎、中村両博士を含め、過去95名にのぼる受賞者を輩出したことなどの活動が報告されました。加えて、今日のような財団運営の厳しいなかにあっても、設立当初からの目的を果たすべく、民による公益増進を図る活動を続けたいとの決意が述べられました。

次に、青山友紀審査委員長による選考経緯と受賞者発表がありました。グループAでは、「情報セキュリティ領域の先駆的研究と産学官コミュニティ構築による分野発展や人材育成に対する主導的貢献」に対し、中央大学教授で情報セキュリティ大学院大学初代学長の辻井重男教授、東京大学名誉教授の今井秀樹博士、また、グループBとして、「デジタル移動通信システムの開発と実用化に関わる主導的・先導的貢献」に対し、エリクソンとソニーモバイルコミュニケーションズ元CTOのヤン・ウッデンフェルト博士、クアルコム創業者会長のアーウィン・マーク・ジェイコブス博士、東北大学教授の安達文幸教授らの業績がそれぞれ紹介されました。受賞者の方々には、佐々木理事長から表彰状、C&C賞牌と賞金が贈られました(写真2)。

続いて、ご来賓の経済産業省商務情報政策局長の富田健介様からは、受賞者へのお祝いとともに、対象業績の今日の社会に対する意義や将来への期待の大きさが述べられました。また電子情報通信学会会長の酒井善則様からは、情報セキュリティと移動通信分野において幅広く類い稀な貢献をされた受賞者に

敬意を示されるとともに、社会課題を解決することのできる優れた情報通信技術の先駆的な事例であるのご祝辞を頂戴し、贈呈式は滞りなく終了しました。

受賞記念講演では、辻井教授、今井博士からは、これまでの情報セキュリティ研究の経緯と産学官による各種のコミュニティ活動紹介などを通じて、今日のデジタル社会の持つ課題の本質と解決のための活動の方向性などが紹介されました。そしてウッデンフェルト博士、ジェイコブス博士、安達教授からは、技術開発の歴史や爆発的な技術進歩の定量的な紹介に始まり、無線通信技術が解決できる今後の社会課題や技術の方向性を示すいただきました。いずれの講演も社会課題の解決実績にとどまらず、その技術の重要性と可能性を改めて表すものであり、今後の技術発展の期待を抱かせるものとなりました。

講演の後はカクテルパーティが開かれ、和やかな雰囲気の中懇親を深める交歓の場となりました。ご来賓との晩餐会では、情報処理学会会長の喜連川優様の祝辞と乾杯に始まり、最後に受賞者のお客様代表によるお祝いの言葉と受賞者からの返礼を頂戴し、拍手のうちに閉会となりました。

近年ともすると、情報通信技術はその成熟化が進み、その存在意義は社会課題解決の一手段に過ぎないとも囁かれるようになりました。しかしながら、今回受賞した2つのテーマは、いずれも過去から今日そして将来更に重要性を増すであろう社会課題に対し、それらを技術主導で本質的に解決することのできる優れた骨太の技術であると同時に、ビッグデータやIoT (Internet of Things) といった今後の情報通信分野の進展を支えるためにも無くてはならない基礎技術であることは明白であり、まさにC&Cの本流技術を称えたのが今年の表彰であったと言えます。



写真1 C&C 賞表彰式典



写真2 グループA 受賞者の今井博士と辻井教授、佐々木理事長、グループB 受賞者のジェイコブス博士、ウッデンフェルト博士、安達教授(左から)

NEC 技報のご案内

NEC 技報の論文をご覧くださいありがとうございます。
ご興味がありましたら、関連する他の論文もご覧ください。

NEC技報WEBサイトはこちら

NEC技報(日本語)

NEC Technical Journal(英語)

Vol.67 No.2 ICTシステムを担うこれからのクラウド基盤特集

ICTシステムを担うこれからのクラウド基盤特集よせて
NECのクラウド基盤への取り組み

◇ 特集論文

NEC C&Cクラウド基盤 NEC Cloud IaaSのサービス

マルチ環境統合を実現するポータルサービス
多用途環境に対応するハイブリッド型サーバサービス
多様なネットワーク環境を提供するネットワークサービス
内部統制手法を活用した堅牢なセキュリティサービス
クラウド基盤を支えるデータセンターサービス

NEC C&Cクラウド基盤を支える製品、最新技術

運用の自動化によりトータルコストを最適化する [WebSAM vDC Automation]
運用自動化により効率的な管理を実現する統合運用管理基盤
データセンターのTCO削減に貢献するマイクロモジュラーサーバ及び相変化冷却機構
クラウド環境に適した高信頼基盤を提供する iStorage M5000
データ保存に最適な、優れた圧縮効率と高速性を両立する iStorage HSシリーズ
大規模データセンターの管理自動化をサポートする SDN対応製品 UNIVERGE PFシリーズ
省電力を実現する相変化冷却技術・熱輸送技術

NEC C&Cクラウド基盤の将来技術

低コスト・省電力・低フットプリントを実現するアクセラレータ活用技術
スケールアップにより多種多様なコンピューティングを実現する Resource Disaggregated Platform
クラウド環境を対象にしたモデルベース設計支援技術
モデルベースでのサイジングと構成管理によりクラウド上のSIを効率化するクラウド型SI
ビッグデータ分析とクラウド ～異常を見抜くインバリアント分析技術～

導入事例

クラウドで遠隔監視保守システムの安定稼働を実現 全国約1,100基のタワーパークの安全を支える
ビジネスの中核を担うシステムを NEC Cloud IaaSへ移行 NECのトータルサポート力を評価
クラウド基盤サービスでグループのIT環境を共通化 ITガバナンスのさらなる強化を目指す

◇ NEC Information

C&Cユーザーフォーラム &iExpo2014

Orchestrating a brighter world 世界の想いを、未来へつなげる。

基調講演
展示会報告

NEWS

2014年度C&C賞表彰式典開催



Vol.67 No.2
(2015年3月)

特集TOP